

# 仲間に寄り添い、難局を乗り越え、

## 若手が希望を持てる将来を創るために再スタート!

### JR東労組青年部 第35回臨時委員会・第36回定期委員会

JR東労組青年部は8月25日、JR東労組本部大会議室において「第35回臨時委員会」および「第36回定期委員会」を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染症への不安の声を受けてリモート会議での開催となりましたが、活気と一体感のある委員会となりました。

前段の「第35回臨時委員会」では青年部部則の一部改正案を議論しました。委員からは「従前通りの部則では組織現実に即していない」「全てを切るために必要な改正である」との発言があり、青年部運動の更なる前進を確認し、中央常任委員や委員の選出方法の変更など満場一致で承認されました。



加藤書記長からは「厳しい決算の中、残っていることに悩んでいた。JR東労組の情報を気にする仲間が多すぎる。組織拡大を実践していく」と語り、安全を価値基準に赤字・コロナに立ち向かおう」という問題提起や、「青年部の課題は担い手づくり・組織づくりであり、自らの向き合い方を主体的に捉え返し、何事もはぐらかさず真正面から向き合う青年部を創ろう」という激励の挨拶がありました。

質疑では、10名の委員から発言がありました。

#### 【組織強化・拡大について】

「コロナ禍で、仲間がいま何を必要としているのかを考え実践し、JR東労組の必要性を訴えてきた」「自宅待機の取り扱いについて会社と議論してきた。組合がなければ現実を変えることはできなかった」「いつも運動していた自分を勉強するだけではなく一緒に実践することが重要」「勝手に壁をつくり仲間と向き合おうとしない自分自身を、実践によって転換してきた。将来に対する危機感から、仲間を再加入を決定してもらったことができた」と、自らの言葉でJR東労組の必要性を訴え、実践してきた教訓的な発言が出されました。

### スローガン

1. 新生JR東労組運動を一人ひとりが実践し、組織強化・拡大を実現しよう!
1. 「若手が将来に希望を持てる」施策を実現するための議論を創りだそう!
1. 過去の歴史を学び、いのちを守る取り組みを創りだそう!

「第36回定期委員会」では、藤澤青年部長から、第1四半期決算においてJR発足以来初の営業損失・経常損失・四半期純損失を計上している現状に踏まえ、自分たちの雇用や賃金、働き方はどうなるのかを考え、危機感を共有する必要性を提起しました。また、この2年間総団結に向け奮闘してきた一方で、昨年の定期委員会をはじめ組織破壊や分裂策動を繰り返してきた一部指導者を許さないこと、そのような中でも青年部組織をつくり出そうと奮闘している仲間がいることに踏まえ、「組織拡大における仲間の実践を学び、厳しい組織状況の中で奮闘している仲間」に寄り添う青年部組織を創りだす」といった今後の方向性について提起しました。

#### 【仲間とのつながりについて】

「少数となった青年部の現状においても、レクを企画し横の繋がりを意識して運動をつくってきた。自分のできることを考え進んでいく」「青年部員が自分一人しかないない

JR東労組青年部は、一年間の運動の課題を多くの委員の発言で捉え返し、全ての仲間へ寄り添う「新生JR東労組青年部」としてスタートすることを確認しました。実践に学び、青年部員を一人も置き去りにせず、全ての仲間と共に『新生JR東労組運動』を推し進めていきます。そして、雇用危機を乗り越えるために自分たちが何をすべきなのかという危機感を仲間と共有し、一人ひとりの実践によって組織強化・拡大を青年部から目指していきます。

### ■退任された皆さん



藤澤青年部長



小金淵副部長

これからも共に頑張りましょう!

### ■2020年度中央常任委員会 役員体制(敬称略)

- 青年部長 武田 太希 (盛岡)  
副部長 鈴木 大貴 (千葉)  
副部長 肥後 直樹 (大宮)  
事務長 宮下 洋介 (大宮)

- 中央常任委員  
内田 涼 (盛岡)  
中津川大地 (秋田)  
鈴木 敬太 (仙台)  
関 文弥 (千葉)  
森田 隼士 (横浜)  
西川 峻 (八王子)  
末澤 慶彦 (大宮)  
今村 直人 (長野)

一年間よろしくお祈りします!

2020年度役員(敬称略)

議長	浅沼宏優 (本部)	盛岡新幹線運輸区
副議長	石戸 亨 (仙台)	福島総合運輸区
	高橋孝一 (本部)	
	井上寛志 (本部)	
	長谷理生 (本部)	
事務長	佐藤伸也 (本部)	
幹事	其田洋輔 (盛岡)	日本リーテック
	永坂格晃 (秋田)	秋田運輸区
	橋本直幸 (仙台)	新幹線総合車両センター
	谷口 聡 (東京)	上野新幹線第二運転所
	磯 裕二 (大宮)	大宮電力技術センター浦和MC
	中山 透 (高崎)	籠原運輸区
	齋藤裕介 (新潟)	新潟新幹線車両センター
	阿部雄太 (長野)	長野総合運輸区

新幹線協議会は、「新生JR東労組運動宣言」のもと、より良い新幹線職場をつくるために仲間の声を基に議論していきます。



本部ネイチャークラブ 第24回総会

9月5日、盛岡地本こぶし会館において、本部ネイチャークラブ「第24回総会」を開催し、本部・佐藤中央執行委員長、盛岡地本・佐々木執行委員長の出席のもと28名が結集しました。昨年の総会以降、部長や幹事の脱退がおりついても、今総会では6名の仲間から発言がありました。中でも水戸地本再建に向けて原ノ町支部で奮闘中の岩橋さんからは「昨年の総会で前部長と共に奮闘すると確認したのに脱退したのは悔しい。組織拡大と再建に向けて頑張る」と力強い発言があり、参加者全員で取り組んだ色紙を手渡しました。

また、佐藤中央執行委員長からは「新生JR東労組運動の現状と今後の取り組みについて」の講演が行われ、気持ちを新たにしました。

ネイチャークラブ創生の地・盛岡で開催された今総会。現実に背を向けず、自然との触れ合いを通じて仲間との絆を深め、組織強化・拡大を目指すことを全員で確認しました。

ネイチャークラブ創生の原点にたち、  
新生JR東労組運動を推し進めることを確認!

#### 新幹線協議会

##### 「第2回定期委員会」を開催!

8月30日、JR東労組新幹線協議会「第2回定期委員会」を審議にて開催し、スローガン、運動方針、委員会宣言、新役員体制を賛成多数で可決しました。

委員からは、勤務時の新型コロナウイルス感染症対策や、納得感の持てるジョブローテーションの実現、乗務員基地再編などで働きやすい新幹線職場を目指すことの発言がありました。そして、安全で働きがいのある新幹線ネットワークと組織拡大を実現するために積極的に発信することを確認しました。



#### JR東労組OB会

##### 「第24回定期総会」を開催!

JR東労組OB会は、8月22日に「第24回定期総会」を審議にて開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえて4月開催予定であった総会を延期し、OB会員の声を受け止めて審議での準備を進めてきました。

総会宣言では、「現役組合員の運動を支えていくことを規約の中で謳っている」「心あるOB会員と共にOB会強化へ邁進していく」「国鉄改革をはじめ幾多の困難を共にした仲間とともにOB会運動を進めていく」と明確にし、2020年度活動方針をはじめ全ての議案を全会一致で確認しました。これからも健康に気をつけて奮闘していきます。

2020年度新役員(敬称略)

会長	奥山 光昭 (横浜)	
副会長	宮田 利昭 (仙台)	
	新発田正利 (千葉)	
	大谷 和夫 (大宮)	
	赤石 美弘 (高崎)	
事務局次長	植松 健 (八王子)	
事務局次長	田崎 行夫 (大宮)	
	小川 哲 (本部)	
幹事	橋本 利則 (盛岡)	
	加賀谷 賢 (秋田)	
	近藤 寿一 (仙台)	
	長谷川正彦 (千葉)	
	進藤 昇 (横浜)	
	味原 博之 (八王子)	
	福田 進 (大宮)	
	堀口 昇 (高崎)	
	山崎 次男 (新潟)	
	近藤愛一郎 (長野)	
会計監査員	扇谷 健七 (千葉)	
	扇谷 講平 (横浜)	
	浅野 謙 (高崎)	